



セミナー2012

参加  
無料

# 今、大学教育に求められるジェネリックスキル —大学の事例からみえてくる育成と評価のポイント—

主催 **河合塾** **RIASEC** 共催 **KEIアドバンス**

グローバル化した「知識基盤社会」と言われる現代では、専門的な知識の習得とともに、社会人として活躍できる能力(=ジェネリックスキル)を身につけさせることが、高等教育の課題となっています。そうした能力は「社会人基礎力」や「学力」として表現され、その育成のためのさまざまな取り組みが行われています。そして、そうした取り組みはIR (Institute Research)を通して検証され、その改善が図られています。

ジェネリックスキルの評価は、プログレスシートやポートフォリオによる学生自身の振り返りや、質問紙を用いた調査などが主流になっています。しかし、OECDがAHELOの実施を計画しているように、客観的な「測定」の必要性も認識されています。今回のセミナーでは、河合塾とリアセック社が共同で開発した、大学生のジェネリックスキルを客観的に測定する「PROG(プログ)」テストと、それを用いた大学での取り組み事例をご紹介します。学生課程教育と結びつけたジェネリックスキルの育成と評価のモデルを明らかにしていきます。

また、東京会場の基調報告者である松下佳代氏(京都大学)には海外の実情を踏まえた「評価」の全体像について、大阪会場の基調報告者である溝上慎一氏(京都大学)にはジェネリックスキルの育成のための「アクティブラーニング」についてご報告いただきます。

東京  
会場

日時:2012年7月28日(土) 13:30~17:00  
(開場13:00より)  
会場:リクルートGINZA8ビル 11Fホール  
定員:200名



リクルートGINZA8ビル  
東京都中央区銀座8-4-17  
(JR新橋駅銀座口・東京メトロ  
新橋駅5番出口から徒歩2分)

大阪  
会場

日時:2012年7月14日(土) 13:30~17:00  
(開場13:00より)  
会場:河合塾大阪校 S館7階 702教室  
定員:150名

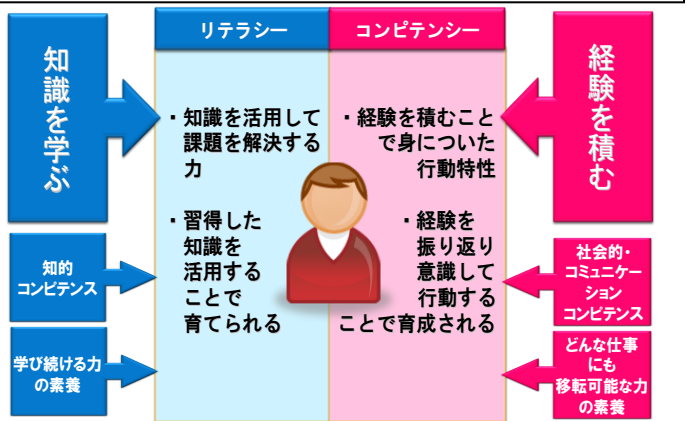


河合塾大阪校S館  
大阪市北区豊崎3-13-1  
(地下鉄御堂筋線中津駅  
4号出口より徒歩2分)

※各会場ともお申込みは先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。

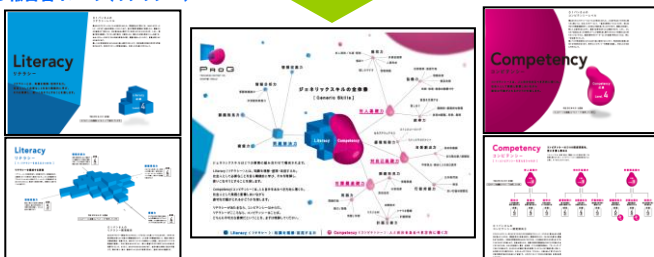
## PROG(Progress Report On Generic Skills)とは

- 「PROG」とは社会で求められるジェネリックスキルを高めるためのプログラムです。
- 「PROG」テストは現実の場面を想定して問題が作られており、実際に知識を活用して問題を解決することができるか(リテラシー領域)、実際にどのように行動するのか(コンピテンシー領域)という2つの側面からジェネリックスキルを測定することができます。
- 知識を活用する力を育成することと、経験を積み経験を振り返って行動力を育成することとは、それぞれ異なるアプローチが必要です。ジェネリックスキルを育成するためには、プログレスシートやポートフォリオを用いて自らの学びや行動を振り返るだけでなく「PROG」テストのような客観的なテストを用いて自分の現状を把握することが重要であると考えています。



●報告書イメージ(リテラシー)

●報告書イメージ(コンピテンシー)



◆第一部◆

13:30

14:00

主催者挨拶

学校法人河合塾 教育研究部長 谷口 哲也

PROGによるジェネリックスキルの測定方法と分析事例紹介

株式会社リアセック 代表取締役 松村 直樹

東京会場(7月28日)

大阪会場(7月14日)

大学の事例報告

高知工科大学

基礎力測定テストを用いた教育効果の妥当性について

高知工科大学  
マネジメント学部  
教育講師 酒井 良二 氏



芝浦工業大学

総合的問題解決力を身につけるためのシステム工学教育

芝浦工業大学  
理工学研究科システム理工学専攻  
教授 長谷川 浩志 氏



東京理科大学

理工系大学の経営学部における教育的特長とジェネリックスキルの養成について

東京理科大学 経営学部  
教授 能上 慎也 氏



高知大学

課題解決型授業の教育効果を測る

高知大学  
総合教育センター大学教育創造部門  
准教授 立川 明 氏



長崎大学

国際社会でのリーダーの育成を目指す教養教育の改革と課題

長崎大学  
学長特別補佐  
大学教育機能開発センター  
副センター長 橋本 健夫 氏



大阪成蹊短期大学

短期大学の専門職に求められるジェネリックスキルの育成と評価

大阪成蹊短期大学  
学長 武蔵野 實 氏



休憩

◆第二部◆

14:00

15:35

事例総括とジェネリックスキル開発の最新話題提供

学士課程評価の全体像  
—ジェネリックスキルを評価するための視点—

京都大学  
高等教育研究開発推進センター  
教授 松下 佳代 氏



大人数講義における知をふまえたアクティブラーニング型授業(ピアインストラクション)の開発

京都大学  
高等教育研究開発推進センター  
准教授 溝上 慎一 氏



パネルディスカッションと質疑応答

ファシリテーター: 学校法人河合塾 開発研究職 講師 成田 秀夫

当日の講演者に登壇いただき、会場からの質問を中心にディスカッションを展開します。  
※終了後、ご希望の方は個別にご相談を承ります。

◆第三部◆

15:50

17:00

ご参加お申込み方法

FAXまたはホームページにてお申込下さい。

FAXでお申込みの場合は、1名様につき1枚下記をご記入の上、切り取らずに03-5402-3789へご送信下さい。

学校名・教育機関名・企業名		住所: 〒	
電話番号:	FAX番号:	E-mail:	
氏名	所属部署	役職	
参加希望会場 7/28東京 ・ 7/14大阪 (両方申込可)		本申込書でお送りいただきます情報(個人情報含む)は、本シンポジウムの運営についてのみ使用させていただきます。	